

農業遺産って、なんだ？

農業遺産は、特徴ある農林水産業が昔から今へ受け継がれる中で、農村風景や文化、多様な生きものが育まれ、大切に守り伝えられてきた地域が登録される仕組みです。

登録にあたっての

8つの基準

1. 農家の収入に貢献
2. いろいろな生きものがいる
3. 伝統的な農法を繋いでいる
4. 農業※に関わる伝統的な文化
5. 農業※が生み出す特徴的な風景
6. 災害が起こったときの回復力
7. 様々な人たちの関わり
8. 農業※を活かした新しい取組

※林業、漁業も含まれます。



1. 人々の暮らしを支える梅産業



2. 飛ばない「カケガワフキバシタ」



3. 階段状に開墾された「わさひ田」



4. 五穀豊穡を祈願する「神楽」



5. 琵琶湖を代表する「エリ漁」の風景



6. 地震後、3年で棚田を復興



7. 市民参加・企業連携による「落ち葉掃き」イベント



8. にし阿波ブランド「あわのわつか」

農業遺産に登録されて、こんな変化が表れました

○地域の人たちの自信がアップ

埼玉県武蔵野地域を取組

- 市民参加・企業との連携による「体験落ち葉掃き」イベントの開催
- 他国の世界農業遺産地域との交流

○農産物の差別化が図れる

静岡県掛川周辺地域を取組

- 伝統的な農法を実践する生産者を認定
- 茶草場農法認定茶にシールをつけてPR

○観光客が増える

石川県能登地域を取組

- 棚田周辺の住人が棚田の魅力を発信するツアーを開催
- SNS等で地域の魅力を情報発信

○地域に移り住む人が増える

新潟県佐渡市の取組

- 地域おこし協力隊の受け入れ



「体験落ち葉掃き」の開催



韓国ハドン郡との交流



生物多様性貢献度シール



伝統的な茶草場農法の実践者を認定

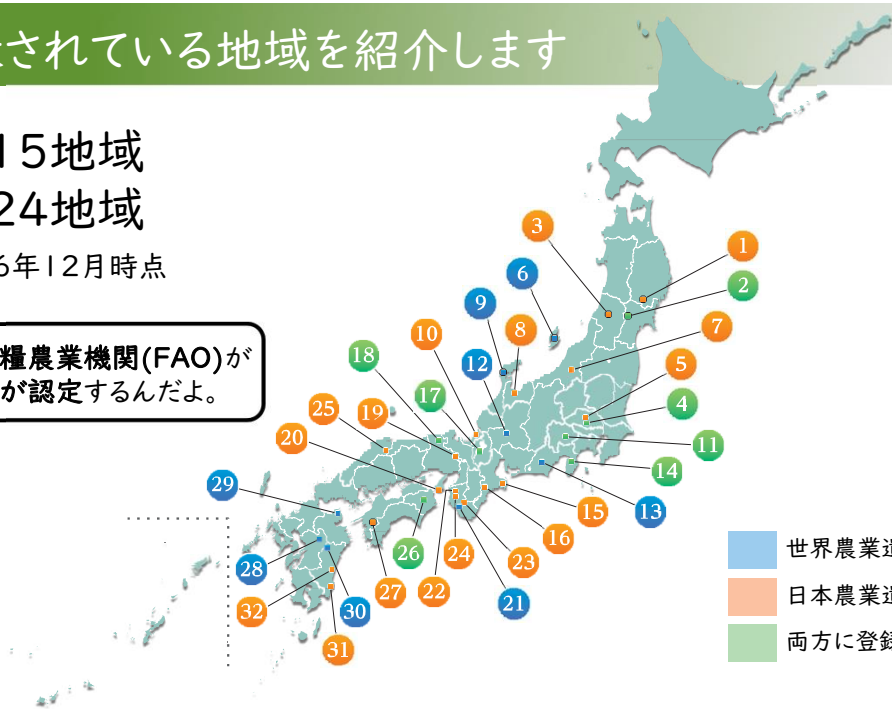
農業遺産に登録されている地域を紹介します

世界農業遺産 15地域

日本農業遺産 24地域

※令和6年12月時点

世界農業遺産は国際連合食糧農業機関(FAO)が
日本農業遺産は農林水産省が認定するんだよ。



■ 世界農業遺産
■ 日本農業遺産
■ 両方に登録



16

三重県
おおせ きほく
尾鷲市・紀北町



17

滋賀県
ひわし
琵琶湖地域



18

兵庫県
ひょうごみかた
兵庫美方地域



19

兵庫県
たんばさやま
丹波篠山地域



20

兵庫県
みなみ
南あわじ地域



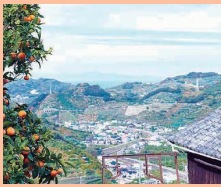
21

和歌山県
たなべ
みなべ・田辺地域



22

和歌山県
かいなんし しもつ
海南市下津地域



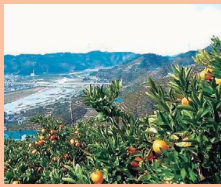
23

和歌山県
こうや はなぞの しみず
高野・花園・清水地域



24

和歌山県
ありだ
有田地域



25

島根県
おくいずも
奥出雲地域



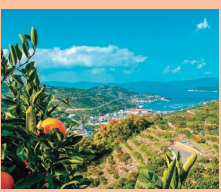
26

徳島県
あわ
にし阿波地域



27

愛媛県
なんよ
南予地域



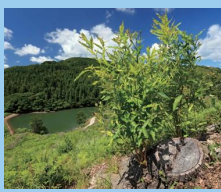
28

熊本県
あそ
阿蘇地域



29

大分県
くにさきはんと う さ
国東半島宇佐地域



30

宮崎県
たかちほ きょう しいばやま
高千穂郷・椎葉山地域



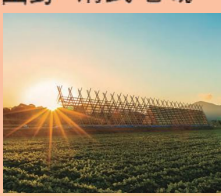
31

宮崎県
にちなん
日南市



32

宮崎県
たの きよたけ
田野・清武地域




関東農政局内で登録されている5地域を紹介していきます!!

山梨県 きょうとう 峡東地域



かけがわ しゅうへん
静岡県 掛川周辺地域



埼玉県 比企丘陵地域



埼玉県 武蔵野地域



静岡県 わさび栽培地域



関東農政局管内では

5地域が登録されています！





埼玉県武蔵野地域は東京から30km圏内の大都市近郊に位置し、川越市・所沢市・ふじみ野市・三芳町の3市1町で構成しています。



埼玉県 武蔵野地域



日本農業遺産

平成29年3月認定

世界農業遺産

令和5年7月認定

大都市近郊に今も息づく 武蔵野の落ち葉堆肥農法

武蔵野の落ち葉堆肥農法とは？

「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は、江戸の食料需給に応えるための1600年代の江戸時代の本地域の開拓に遡ります。開拓時、栄養分が少なく、水に乏しいなど農業を行うには非常に厳しい自然条件の本地域において、「**屋敷地・畑地・平地林**」を計画的に配置し、その平地林の**落ち葉を堆肥化し、畑地にすき込み土壌改良を行うことによって、生産性が高い畑地を生みだし、安定的な農産物の栽培を可能にしたのが「武蔵野の落ち葉堆肥農法」**です。

特徴的な短冊形地割

農法が生み出す
農業生物多様性



キンラン（絶滅危惧二類）

落ち葉掃きなどの平地林の管理が、希少な動植物が暮らす環境を生み出している。



平地林から集められた落ち葉は土壌微生物などの力により1～2年かけて堆肥となる。

一軒あたり約5ha

平地林
約2ha

畑地
約2.5ha

屋敷地
約0.5ha

平地林の落ち葉

堆肥化された落ち葉



冬になると地域内各所で落ち葉堆肥の原料となる落ち葉掃きが行われる。

多種多様な農産物



市民参加による
落ち葉掃き

首都東京から
30km圏内
大都市近郊の
農業遺産

都市への食料供給

農法が生み出す文化



▲開拓農民の心の拠り所である菩提寺の多福寺

大都市東京

世界農業遺産武蔵野の
落ち葉堆肥農法推進協議会
地域の詳細な情報はこちらから→



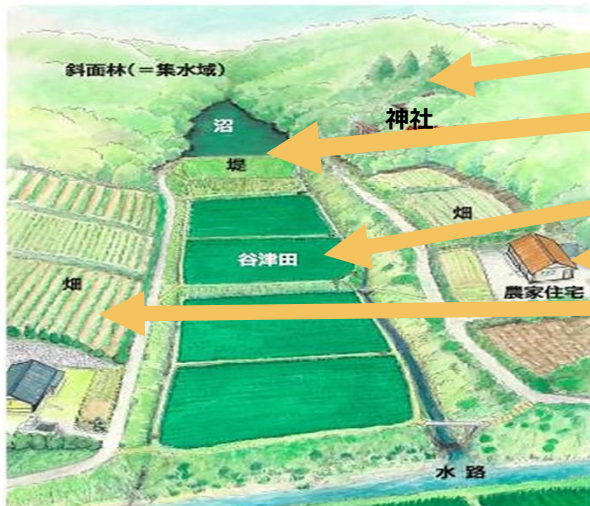
A map of the Maebashi area in Saitama Prefecture, Japan. The map shows the Maebashi Line (pink line) and the surrounding districts. The districts shown are Maebashi City (熊谷市), Maebashi City (滑川町), Maebashi City (吉見町), Maebashi City (寄居町), Maebashi City (小川町), Maebashi City (嵐山町), and Maebashi City (東松山市).



日本農業遺産
谷津沼農業システム

谷津沼農業システムとは？

天水のみを水源とする農業システムは、今なお貴重な生態系や文化を守り育んでいます。



- 

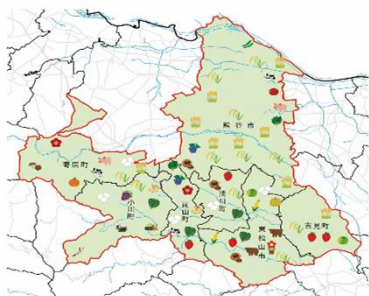
▲谷津田米



▲いちごサイダー

谷津の数 $\div$ ^(ため池)谷津沼の数
350 箇所以上

農業生物多樣性



国指定天然記念物
ミヤコタナゴ



国指定天然記念物
ミヤコタナゴ



国蝶オオムラサキ

◀閉鎖的な水系は、
生物多様性の保全にも貢献し
ています。 ▶

比企丘陵農業遺産推進協議会
地域の詳細な情報はこちらから→





山梨県峡東地域は
甲府盆地の北東部に位置し、
山梨市・笛吹市・甲州市の3市で
構成しています。



日本農業遺産
平成29年3月認定
世界農業遺産
令和4年7月認定



峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム

－先人の工夫と努力が生んだ独創的な農業システム－

峡東地域の果樹農業システムとは？

峡東地域は、日本のブドウ栽培発祥の地とされ、ブドウの「甲州」は、平安時代には栽培されていたとも言われています。また、モモ、スモモ、カキなども少なくとも100年以上前から栽培され、江戸時代から果樹の産地として知られていました。扇状地の傾斜地に適応するため、甲州式ブドウ棚と疎植・大木仕立てなどの技術が生み出され、こうした技術を伝承し、匠の技による高品質な果実や加工品を安定的に生産し、収益性の高い農業を確立しています。

伝統的な知識



甲州式ブドウ棚

日本の多雨・湿潤な気候で、ブドウを安定的に生産するために400年以上前に開発された技術。

ワイン醸造や観光利用

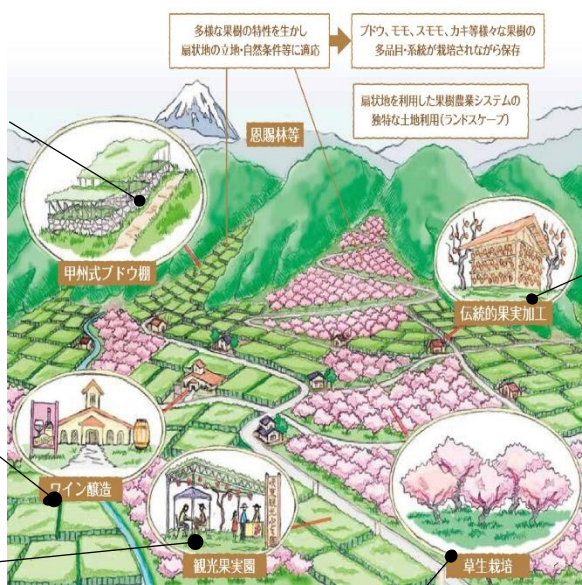


ワイン醸造

明治初期には「甲州」などのブドウでワイン醸造を開始し、現在では峡東地域に60軒を超えるワイナリーが存在。

観光果実園

江戸時代に宿場町として栄えた甲州市勝沼町において、往来する旅人に対し、特産のブドウや加工品等を販売したことから始まり、現在では国内外から多数の観光客が来訪。



伝統的果実加工



枯露柿の生産

枯露柿は、「甲州百目」と呼ばれる峡東地域の在来品種の渋柿を原料として作られる干し柿で、皮むき、縄がけなど数多くの工程が伝統的な加工技術として継承。

農業生物多様性



自生する草種を利用した草生栽培

傾斜地での雨水による土壌流亡防止や土壌への有機物補給などの効果とともに、植物・昆虫が生育できる多様な環境をつくり、果樹園の生物多様性に寄与。

峡東地域世界農業遺産推進協議会
地域の詳細な情報はこちらから→



静岡県わさび栽培地域は、静岡市、伊豆市、下田市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、浜松市、富士宮市、御殿場市、小山町の6市5町で構成しています。



静岡県 わさび栽培地域



静岡水わさび

日本農業遺産

平成29年3月認定

世界農業遺産

平成30年3月認定

静岡水わさびの伝統栽培

－発祥の地が伝える人とわさびの歴史－

わさび栽培システムとは？



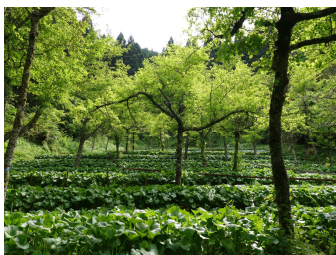
わさび栽培は、今から400年以上前に現在の静岡市で始まったとされています。また、1892年頃には現在の伊豆市で、**棚田状の階段構造**を持つ「**畳石式わさび田**」と呼ばれる独特な栽培方法を確立しました。日本の固有種であるわさびを、「畳石式わさび田」で農薬や肥料を極力使わず**湧水に含まれる養分を利用して栽培**する伝統的な農業を継承しています。

和食に欠かせない食材



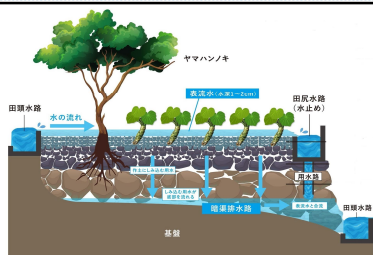
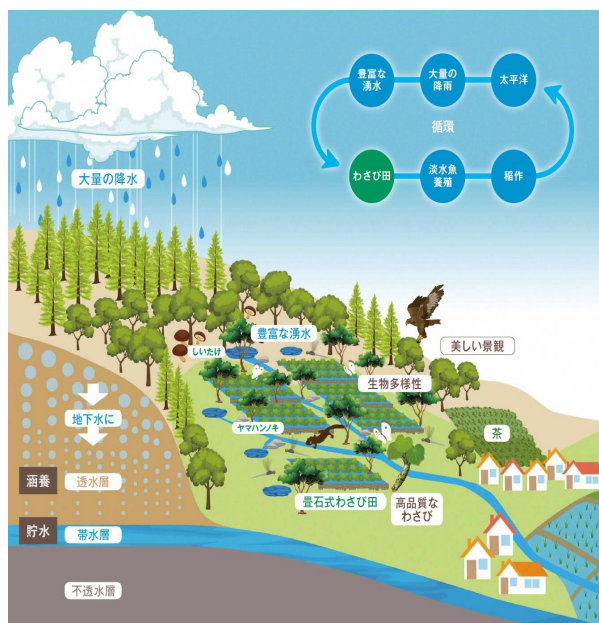
わさびは日本の固有種です。根茎部分をすりおろすと清涼感のある辛味が生じるため、鮨、刺身、そばなどの薬味として、古くから和食に欠かせない食材となっています。

優れたランドスケープ



わさび田は山間地の森林に溶け込み、四季を通じて優れた景観を生み出します。

畳石式わさび田



下層に大きな岩を敷き詰め、上層へ徐々に小さな石を積み上げ、表層には砂礫を敷く複層構造に豊富な水をかけ流すことで、**水温の安定と養分や酸素を供給**し、一年を通して高品質なわさびを生産することができます。

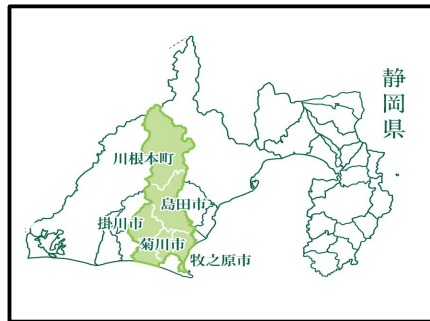
生物多様性を育む農法



急峻な地形の山間地であって、**水の流れを緩やかにするわさび田**は、多くの水生生物が繁殖する場を提供しています。

静岡わさび農業遺産推進協議会
地域の詳細な情報はこちらから→





静岡県掛川周辺地域は静岡県中西部に位置し、掛川市・菊川市・島田市・牧之原市・川根本町の4市1町で構成しています。

静岡県 掛川周辺地域



世界農業遺産

平成25年5月認定



静岡の茶草場農法

－豊かな生物多様性を育み環境と共生する伝統農法－

静岡県掛川周辺地域では、「**茶草場(ちゃぐさば)農法**」と呼ばれる伝統農法でお茶が栽培されています。

毎年秋に草を刈り、有機物として茶園に投入することで、茶草場を様々な動植物が生育する特別な場所に変えてきました。高品質な茶づくりを目指す農家の努力により生物多様性が保全・継承されています。

茶草場農法の工程

草刈り



秋から冬にかけてススキやササ等の茶草を刈り取ります。



生物多様性の保全

草刈り後の茶草場



草を刈り取られた後は地表まで日の光がよく当たり、様々な生物が生育しやすい環境になります。

草の乾燥



刈った草を束ねて乾燥させます。束ねた草は「**かっぱし**」と呼ばれています。

茶園へ投入



乾燥させた草を細断し、茶園へ投入します。



高品質なお茶づくり

よりよいお茶づくりのために



茶草場農法の技術は高品質なお茶を生産しようとする農家の努力により継承されています。

固有種の保存

カケガワフキバッタ



静岡県掛川市の地名を冠した**固有種**で、翅が退化して成虫になっても飛ぶことができないバッタです。

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会
地域の詳細な情報はこちらから→

